

## Contents

1. 《開催報告》令和5年度第3回 キャリアカフェ 2. 《報告》令和6年度復帰予定者「看護師復帰前研修」  
3. 《ご案内》神戸大学 病児・病後児保育 なのはな 4. マタニティ白衣・スクラブ・ズボン レンタルサービス 寄稿文

令和5年度 開催日：2024年2月19日(月) 12:00~13:00 ハイブリット開催

## 令和5年度第3回 キャリアカフェ



## 1.開催報告

## テーマ：男性の育児に関わる役割

今回のキャリアカフェは、木村先生の司会・進行のもと、「男性の育児に関わる役割」をテーマに、看護師の高橋伸弥さんと薬剤師の丹田雅明さんにお話いただきました。

お二人とも子育てに日々奮闘されている様子や、父性が芽生えてお子さんに深い愛情を注がれていることが会場にも伝わってきました。座談会形式で、会場にご参加のみなさんとも意見交換ができ、育児について考えることができました。

## Q妊娠が分かってから出産の前後でどのような変化がありましたか？

(丹田) 妊娠後期の時は運動した方がよいと先生に言われて、一緒に散歩をしたりして過ごしました。このまま生活は変わらないかなと思っていたら、子どもが生まれたとたんに生活が一変したということが正直なところです。睡眠時間の確保から大変だと感じましたが、いろいろと大変ながらも、子どもが実際に生まれてみたら思った以上に可愛かったので、それがモチベーションになり、元気をもらえるとところだと感じています。

(高橋) 妊娠が判明した時はとても喜びました。赤ちゃんの性別は、おにぎりの具が鮭なら男の子、昆布なら女の子、というのを先生がしてくれて、そういうことも楽しみながら出産まで過ごしました。ところが、生まれた瞬間から生活が一変しました。本当に子育ては大変です。大変ではあるけれど、今はかわいいかわいいと抱っこしながら働きたい気持ちです。奥さんは出産してすぐに母性が芽生えるけれど、私はどうしていいのかが先立ち、またとても戸惑ったりしていました。私は育休を取っていたので、一日中一緒に生活していましたので、その中で子どもへの愛おしさを感じ、徐々に父性が芽生えて父親になったと感じています。すごく泣いて眠れないし大変ですが、寝顔をみると天使の笑顔で、子どもの顔を見ているとすべての疲れが吹っ飛ぶくらいです。

司会・進行  
総合臨床教育センター特命助教  
木村 真希 先生

子ども  
中1  
小5  
小2



登壇者

看護部7階南 看護師  
高橋 伸弥 氏

子ども  
0歳7ヶ月



登壇者

薬剤部 薬剤主任  
丹田 雅明 氏

子ども  
1歳10ヶ月



## Q育休のメリットは？

(高橋) 育休期間は約1か月でした。とても有意義に過ごすことができました。育休を取ったのは、奥さんのそばでしっかり1か月間、自分が育児・家事をメインでやろうと思ったからです。育児と家事もしないといけないのが大変で、朝ごはんを作って、沐浴して、ミルクを飲ませて、子どもが眠っている間に買い物を済ませて、またミルクを飲ませて、というような毎日です。大変ですが、それを上回るくらいのかかわりで、家事をみずから手伝おうと意識も芽生えました。自分がある程度の育児ができるようになれば、奥さんも社会復帰して仕事に戻った時に、旦那に子どもを預けられる安心感があると思います。それが仕事の復帰を早めることにつながったり、仕事の収入が安定するとまた2人目3人目と考えられるようになり、社会的なメリットもあると思います。

## Q育児をしながら仕事と学業の両立で工夫された点はありますか？

(丹田) 子どもが生まれた時は大学院4年生という立場でした。まずは睡眠時間をきちんととって生活するところから始めました。育児・仕事・学業との両立は、私の場合は奥さんの協力もありました。その中で、家事については自分ができる限りのことはやると決めて、お皿洗いか子どもをお風呂に必ずいれようとか、そういうところから奥さんの好印象に繋がったのではないかと自分自身が考えているところです。そうしているうちに子どもの手のかかる時期も超えて、いろいろ回るようになってきたと思います。大学院のことは奥さんへの説明を頑張ったので、説明なども大事だと思います。ちゃんと家事の分担ができていて、自分が土日休みなのでその時はできるだけ自分がミルクをあげたり、散歩をしたりしています。自分が働いていると奥さんの方にバランスが大きくなるので、子どもに忘れられる心配もあるので子どものウエイトが自分にも大きくなるように分担しています。

## Q育児取得のプロセスや相談はいつ頃どのような感じで進められましたか？

(高橋) 安定期に入ってから看護師長さんに相談をしました。育児休暇を取得したいと伝えたところ快諾してくださいました。育休の手続き等はブラッシュアップセンターへ相談しました。自分が育休を取ることで他の男性看護師も育休を取りやすくなったと聞くこともあるので、どんどん男性も育休を取ることができる雰囲気になるよう少しは役立てたかなと思います。

(丹田) 薬剤部は働き方改革に対する意識が高まっており、時間外はなるべく業務を切り上げることや産休育休など休みを取ることにすごく理解があり非常に有難いです。

子どもができたときに育休を取得するかどうかの「意向確認」というものがありました。意向確認の制度によって、育休を取りやすい雰囲気になると感じますし、そういうことを活用して男性も育休を取りやすくなったと思いました。

## Q家事や育児の合間の楽しい時間やこれだけは譲れない時間はありますか？

(高橋) バレーボールをしています。仕事で練習に行けない日もありますが、行ける時は体を動かしています。ゲームも好きで、その時間の確保のために奥さんや子どもの寝ている時間より早く起きるなどしています。

(丹田) ジョギングをしています。土日にジョギングに出るときは、奥さんに前もって話しています。

自分が外にでた時間は、その間は奥さんも買い物してねと、お互いにリフレッシュする時間も大切にしています。



# 令和6年度復帰予定者「看護師復帰前研修」



令和6年度に育児休業から復帰予定の方を対象とした研修を開催しました。

開催日：2024年2月29日（木）・3月5日（火）・7日（木）・11日（月）

場所：地域医療活性化センター/看護部管理室

令和6年度に育児休業から復帰予定の看護師の方を対象に、看護師復帰前研修を行いました。4日間で29名の方にご参加いただきました。「実技研修」では採血や静脈注射のテクニックを確認し、「電子カルテシステム研修」では電子カルテシステムの実機に触れながら基本操作や新機能について学びました。久しぶりの手技や電子カルテで感覚を思い出せたという感想が多く寄せられました。参加者同士の交流で情報交換や気持ちの共有などができ、有意義な時間となった様子で、いずれのコースも好評でした。また、研修中にお子様をお預かりする無料託児をご用意し、4日間で13人のご利用がありました。



採血や注射の手技を練習する「実技研修」



KOSMIC端末を操作する「電子カルテシステム研修」

参加者アンケート（抜粋）

託児アンケート（抜粋）



- ・実際に実技を体験することができて、良い経験ができました。操作方法を丁寧に教えていただき、とても分かりやすかったです。
- ・久しぶりに採血やカルテのことを思い出せてよかったです。他の参加者の方と話すことができて、情報共有や気分転換になりました。
- ・丁寧に指導していただき、少し思い出せたので、参加して良かったです。
- ・仕事復帰が楽しみになりました。
- ・子どもを預けることができたので、安心して研修に臨めました。
- ・初めて子どもを預けましたが、スムーズに引き渡しができ、研修に参加できて良かったです。
- ・必要な物など事前にしっかり教えていただき、子どもが寝ている間に預けることができてよかったです。

## 2.案内

## 神戸大学 病児・病後児保育

### 神戸大学 病児・病後児保育 なのはな

神戸大学の教職員、学生が養育するお子様を対象とした病児・病後児保育室です。

事前登録が必要となります。

詳細は「はとぼっぼ保育所」までお問い合わせください。

TEL:078-382-6984

定員	2名 ※感染症対策のため定員を1名とする場合があります	
保育時間	月～金 午前8時～午後6時	
休室日	土日祝、12/29～1/3、その他大学が指定する日	
利用対象	生後43日～小学校就学前までのお子様 ※教職員、学生が養育するお子様に限り（委託業者の方は対象外）	
料金 <small>いずれも税込金額</small>	利用料金	1日3,000円、午前のみ1,200円、午後のみ1,800円
	延長料金	1時間につき2,000円
	キャンセル料	2,000円 ※当日午前6時30分以降のキャンセルが対象

## 3.寄稿

### マタニティ白衣・スクラブ・ズボン レンタルサービス

マタニティスクラブ・ズボンをご利用いただきました先生よりご感想をご寄稿いただきましたので紹介します。

この度はマタニティスクラブを利用させて頂き、ありがとうございました。妊娠中期頃から徐々にお腹の膨らみが目立ち始め、ズボンのゴムがキツくなってきた頃に、上司にこちらのレンタルサービスを教えてもらいました。マタニティ用スクラブは短期間しか使用しないため購入するにはもったいないと思っていたので、非常に助かりました。私は主にズボンを中心に利用させて頂きましたが、お腹の部分が伸縮性の良い幅広ゴムになっていて、中のゴム紐の長さも自由に調整できるため、長時間履いていても苦しくなく、とても快適に過ごせました。もし今後、身近に妊婦さんがいれば是非お勧めしたいと思います。大変助かりました、ありがとうございました。（歯科口腔外科 中西知佳先生）



### 意向確認とは

今回のキャリアカフェで話題に挙がった「意向確認」について。

育児・介護休業法では、本人または配偶者による子の妊娠・出産の申出の際に、育児休業の取得の意向を確認することが義務付けられています。（男女問わず必要です。）これにより育児がさらに取りやすい環境となっています。「育児休業を取得する目的やタイムリング」「夫婦でお互いにどうサポートしていけるのか」など夫婦で話し合う機会を作って、仕事と育児の両立を進めてみませんか。



今年度も多くの方々にご協力をいただきましたおかげで、楽しいイベントを開催することができました。来年度もまた皆様に喜んでいただけるような様々なイベントを企画してまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

当センター発行の「妊娠・出産・育児・介護のためのハンドブック」では、産休・育休制度など子育て支援について詳しくご案内しております。ぜひご利用いただけたら幸いです。

### 【発行】

神戸大学医学部附属病院 D&Nplus ブラッシュアップセンター  
〒650-0032

神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 地域医療活性化センター1階

TEL 078-382-5266/FAX 078-382-5837

MAIL brushup@med.kobe-u.ac.jp

HP <https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/>



### 育休 どうする？

出産の申出を受けるとは  
育休取得の意向確認を！  
(男女問わず必要です)



令和4年度から育休制度が変わります

令和4年4月 育休の取得確認の義務化  
令和4年10月 「産後/育児休業」の新設  
育休の分割取得が可能に

育休がさらに取りやすくなります！

神戸大学は仕事と育児の両立を支援します！

制度について詳しくはこちら（厚生労働省ウェブサイト）